

令和 8 年 7 月 2 2 日
第 1 回墨田区地域公共交通活性化協議会資料

「墨田区地域公共交通計画」に基づく 施策の進捗状況について

目次

墨田区地域公共交通計画の施策体系	・・・ P. 3
令和 7 年度における数値指標の達成状況について	・・・ P. 4
【令和 8 年度に取り組んでいる主な施策】	
施策 2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現	・・・ P. 5
施策 2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現	・・・ P. 6
施策 3 - 1 移動制約者に対する移動サービスの充実	・・・ P. 7
施策 3 - 2 新しい移動サービスの導入検討 (再掲 4 - 2)	・・・ P. 9
施策 4 - 1 公共交通に対する意識の醸成 (再掲 5 - 3)	・・・ P.10

墨田区地域公共交通計画の施策体系

地域で支える 多様な交通ネットワーク ~ 誰にでもやさしく 快適に移動できるまちの実現 ~



「墨田区地域公共交通計画」P.76より抜粋

令和7年度における数値指標の達成状況について

墨田区地域公共交通計画における段階的な目標値の設定

数値指標	年度			
	R6	R7	R8	R12
全体：基本方針				
交通の便に関する区民の満足度（％）	83.3 (R6)	-	85	90
目標1 多様な交通ネットワークをつくる				
区内循環バスの収支率（％）	39.7 (R5)	-	-	50
目標2 安全・安心に移動できるまちにする				
交通の安全性に関する区民の満足度（％）	34.8 (R6)	-	36	40
目標3 誰にでもやさしい交通をつくる				
交通の便に関する高齢者の満足度（％）	78.5 (R6)	-	80	85
目標4 公共交通を地域で支える				
イベント等におけるアンケートでの公共交通に関する理解度（％）	-	30	33	50
目標5 環境に配慮した交通に転換する				
墨田区における運輸部門の二酸化炭素排出量（千t-CO ₂ ）	193 (R3)	-	-	(173)

昨年度は、区内のイベントにおいて公共交通に関する理解度のアンケートを実施。

「とても理解できた」、「やや理解できた」の回答が95%以上を占める結果となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。



今後も引き続き、各数値指標の達成状況については地域公共交通活性化協議会で報告する。

「墨田区地域公共交通計画」P.73より抜粋

* 各数値指標については、その調査等実施予定に基づき評価年度を設定している。

【今年度の重点的な取組】

目標 2 安全・安心で快適に移動できるまちにする

2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現

主な取組

● 墨田区公共交通マップの配架

区内の公共交通に関する情報を一元化した「墨田区公共交通マップ」の配架を行った。マップは視認性の良さから高齢者を中心に好評であり、令和8年度中に増刷を予定している。
なお、マップは電子版も作成し、区ウェブサイトでも公開している。

【令和8年度の主な取組】

- ・利用者への配布、鉄道駅・バス車内・公共施設などへの配架（随時）
- ・令和8年度版増刷（9月予定）
- ・すみだ五彩の芸術祭で配架（9月～12月予定）
- ・令和9年度版の作成（令和9年2月予定）



JR両国駅での配架の様様



区内循環バス車内での配架の様様

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
ホームページ等での情報提供の充実	作成	情報提供					区

【今年度の重点的な取組】

目標 2 安全・安心で快適に移動できるまちにする

2 - 2 情報技術を活用したシームレスな移動の実現

主な取組

● 【すみだ五彩の芸術祭】墨田区内循環バス 1 日乗車券 電子チケット導入

令和 8 年 9 月から 12 月にかけて区内全域で開催する東京 23 区初の総合芸術祭「すみだ五彩の芸術祭」に合わせて、交通系チケットアプリによる区内循環バス 1 日乗車券の電子チケットを試験的に導入予定である。

電子チケットは芸術祭に関する券面デザインとし、区内循環バスの利用を促進するとともに、区内に点在する各会場の回遊性向上を図る。

【令和 8 年度の主な取組】

- ・ 芸術祭担当、運行事業者等との連携（随時）
- ・ 区報及び区公式 SNS 等での周知（8 月予定）
- ・ 電子チケットの導入（8 月中旬～芸術祭開催期間）

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
ホームページ等での情報提供の充実		試験導入	本格導入の検討				区



チケットアプリ乗車券（イメージ）



すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL

芸術祭 ロゴマーク

【今年度の重点的な取組】

目標 3 誰にでもやさしい交通をつくる

3 - 1 移動制約者に対する移動サービスの充実

主な取組

● 新しい移動サービス検討部会の設置、開催

公共交通は、誰もが有償で利用できるものであるが、移動制約者の中には、公共交通の利用が困難な方もいる。車いすに乗ったままでの乗車が可能なユニバーサルデザインタクシーなどもあるが、身体介助や付き添い等のサービスが必要な方々に対しては、介護タクシーや福祉タクシーなどのサービスが区内でも展開されている。

本年度は、移動制約者に対する移動サービスの充実促進のため、「墨田区地域公共交通活性化協議会」の部会として、「新しい移動サービス検討部会」を設置及び開催し、導入に向け調査研究を行う。

【令和 8 年度の主な取組】

- ・ 新しい移動サービス検討部会の開催
- ・ 移動制約者に対する移動サービスのあり方にかかる調査研究

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画（年度）						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12～R16	
移動支援のあり方にかかる調査研究	調査研究						区



【今年度の重点的な取組】

目標３ 誰にでもやさしい交通をつくる

３ - １ 移動制約者に対する移動サービスの充実

● 新しい移動サービス検討部会での議論

過去に実施したアンケート等調査を基に、高齢者、障害者、及び妊産婦や子育て世帯を「移動制約者」と定義し、区内における新しい移動サービスの導入検討について意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 新しい移動サービスの運用を交通事業者に委託等する場合、事業者に過度の負担が生じないようお願いしたい。
- ・ 高齢者支援総合センターでも移動手段に困っている方の声を聞く。移動サービスの予約について高齢者はアプリを使えない人が多いため、別途の利用方法等を検討する必要があると思われる。
- ・ 障害者を例にすると、障害の特性によって必要な手助けが変わるため、柔軟に対応できる移動サービスが望ましい。
- ・ 子育て世帯は移動制約者である期間が時限的であることもあり、タクシーやバスへの補助やエレベーターについて等、既存の交通機関を使いやすくしてほしいという意見が多い。
- ・ 移動する目的の明確化が必要である。区内循環バスの見直しにより、区内の移動状況が変わることも考えられる。区内の交通環境の変化に応じ、最適な移動手段を考えるべきである。
- ・ 区が公共サービスとしてどこまで関わるかも議論のポイントである。民業圧迫や、新しい移動サービスを導入する地域と、導入しない地域での格差が生じる懸念もあることから、慎重な議論が必要である。
- ・ 移動の不要不急性を峻別していく必要があると考える。区役所の手続きや医療等については遠隔化も検討すべきだ。

挙げられた意見を基に、移動制約者のニーズ把握に努めるとともに、他自治体での導入事例も踏まえ、新しい移動サービスの導入に向けて引き続き調査研究を行っていく。

【今年度の重点的な取組】

目標3 誰にでもやさしい交通をつくる

3-2 新しい移動サービスの導入検討

(再掲：目標4 公共交通を地域で支える 4-2)

主な取組

● 官学連携による新しい移動サービスの導入検討

高齢化が進む文花団地周辺地域において、千葉大学と連携し、グリーンスローモビリティの導入検討を一昨年度から行っている。昨年度の実証運行では地域住民が運行ドライバーを担い、将来的な地域主体での運行を目指している。本取組では、移動の支援だけではなく、高齢者の外出機会の創出や、コミュニティの場づくり・社会参画の促進といった福祉的な効果も期待される。

本年度は実証運行に向けて、(一社)UDCすみだと共同で導入検討会やワークショップを開催し、地域の機運醸成を図りながら実証運行を計画する。

【令和8年度の主な取組】

- ・地域住民を主体とした導入検討会の実施(毎月開催予定)
- ・導入検討に係るワークショップの実施(6~8月予定)
- ・文花団地周辺における実証運行(9~10月予定)



グリーンスローモビリティ車両(ヤマハ発動機㈱ AR-07)



導入検討会の様子



ワークショップの様子

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画(年度)						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12~R16	
官学連携による新しい移動サービスの導入検討	調査・研究・実証			導入検討		導入もしくは引き続き検討	区・交通事業者

グリーンスローモビリティ
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のこと

【今年度の重点的な取組】

目標 4 公共交通を地域で支える

4 - 1 公共交通に対する意識の醸成

(再掲：目標 5 環境に配慮した交通に転換する 5 - 3)

主な取組

● 交通・環境教育の推進

愛知県春日井市立知多中学校より依頼を受け、2年生の修学旅行の学習プログラムの一環として、墨田区の公共交通に関する学習を行った。

生徒たちは春日井市と墨田区の交通環境に大きな差があることを知り、熱心に耳を傾け学習に取り組んでいた。



修学旅行生 受入れの様子

昨年度に続き、両国小学校の教諭より依頼を受け、6年生の社会科における地方自治の分野で、今年度の区内循環バスの見直しを研究主題として扱うことに賛同し、区として資料提供等を行った。

また、区職員が授業に参加し、児童たちの考える見直し案の発表を直接受けることで、今後も自発的に公共交通について考える契機とした。



区内循環バスをテーマとした授業の様子

【令和8年度の主な取組】

- ・ 知多中学校 2 年生の修学旅行受入実施 (5 月)
- ・ 両国小学校 6 年生の学習実施 (6 月)

実施スケジュール・実施主体

取組	取組計画 (年度)						実施主体
	R7	R8	R9	R10	R11	R12 ~ R16	
交通・環境教育の推進	継続的に実施						区・地域公共交通活性化協議会